

みんなの広場 第21回

野老澤の歴史をたのしむ会
佐野 弘太郎

所沢に博物館を

私は今、生涯学習推進センター三階で、市民学芸員の仲間と一緒にボランティアとして、俳優、左ト全の遺品の整理をしております。これは世田谷区在住のご親族から北野のご親戚をとおして彼の出生地である当市に寄贈されたものです。大部分が映画、テレビ、ラジオ関係の台本です。作業の手順は、二人一組で、写真撮影、封筒詰め、「資料調査及び補修記録カード」の作成などですが、今回の調査で最大の注目点は、「書き込み」です。何しろ、あの飄々とした独特の雰囲気でも黒沢監督にも重用された個性豊かな俳優ですから、台本上の書き込みもまさに自由奔放、表紙、裏表紙などに、何月何日何時何分、誰からもらって、明日は何時にどこへとか、また、至る所に「世界人類が平和でありますように」などと、非常な達筆で書き込んであります。この書き込みは彼の人となり、思想背景理解の大切な手がかりなので、漏らすことなく記録しておかなければなりません。

作業メンバーは、市主催の「市民学芸員養成講座」の修了生で、生涯学習推進センター「ふるさと研究グループ」の職員さんの指導の下、月2回の午後2時間ほど行っています。ここには、今迄市内で発見され寄贈を受けた古文書や民具などの資料が保管され、市民の目に触れる日を待っています。しかし、元小学校の校舎ですから文化財保護に適した設備ではなく、博物館としての基本的機能を備えた設備を持つことが、郷土の貴重な文化財を、次世代につないでいくために必要と考えております。